



企業の在り方

令和7年6月17日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業においては労働が唯一の評価である。それらは勤労性という美德が企業の永続を与える唯一の現実なのである。

これが正しい企業風土の育成であり、正しい選択であり、評価である。それを失うとき企業はその自己の本質を失うのである。

これらが正しい企業経営であり、公正なルールは正しい労働意欲を与える基盤なのである。

また競争という市場のルールは、常に企業がその向上を自己とする必要性を与えるものである。

これらが正しい企業サイクルの構築であり、結果という利益が、その評価なのである。

これらは一切の偽善性を排除するとき、企業経営における倫理的判断が与えられる。これが結果を生む正しい基盤なのである。

正しい企業経営は必ず社員の高い意欲や満足を与えるものである。それらは企業が公正な自己を有することにおける結果なのである。

これらは企業がその利益の追求でなく、企業経営の健全性を求めることがその結果に至ることへの明確な判断である。

これら企業の正しい運営がそのルールとともに、時代性における飛躍や新しい可能性の実現を生むのである。

またこれらすべては経営における正しい判断とともに育成されるものであり、経営陣における責任なのである。

これら相乗的な健全な企業システムとサイクルが企業の正しい姿なのである。